令和２年度 報告書

公園でのボール遊び事業

コロナ禍における公園利用の実態

平成２６年度から３０年度振り返り

～委員会や施行により事業の大枠を構築～

平成26年度こども未来会議室での中学生の提案を受けて、平成27年度にボール遊びのできる公園検討委員会を設置した。
その後、公園の形や大きさの異なる5公園での試行や近隣住民や中学生等へのアンケートを実施し、委員会での検討を図りながら、令和元年度より本格実施とした。

	H26	H27	H28	H29	H30
こども未来会議室	●			●	
委員会	H27の設置後、H28を除き各年必要に応じて委員会にて事業内容を検討				
5公園での試行			事業方法を変更しながら試行		
アンケート			近隣住民・市内全中学校・試行公園でボール遊びをしている子供などにアンケートを実施		
実態調査				5試行公園以外の公園利用の実態を調査	

H26の提案後、中学生から同様の内容が複数回提案されている

Ｒ１年度振り返り

～パンフレット・ルール看板の周知に課題～

ボール遊びができる施設のパンフレット等を小・中学生へ配布。
一部公園にはルール看板の設置も行い、新しいかたちで事業実施をしたが、主に周知について課題が見られる結果となった。

委員会での主なご意見

・パンフレットは地区で分けるなど、施設の詳細が分かるようにすると良い
・小学生にルール等を伝えるポスターを中学生に作成してもらうのが良い
・こども未来会議室の授業の一環で本事業を紹介するのはどうか　　など

令和２年度は、新規の３公園で事業実施したほか委員会で頂いたご意見への対応を行った。

令和２年度事業概要

新規の３公園で事業実施

昨年度課題
ボール遊びのできる公園を増やす

宮本台公園・宮本台北公園・飯山満南公園を追加

安全性や面積等の条件を検討し、近隣自治会にもご理解を頂いたうえで、選定を行った。
中学校区にボール遊びのできる公園がない箇所を中心に、３公園を追加した。
新規３公園及び既に事業実施している１２公園で実態調査を行い、安全にボール遊びが出来ているか等を確認した。

4地区に分けたパンフレットの配布

昨年度課題
・施設の詳細が分かりづらい
・配布時期が悪い

地区別に分かりやすく

自分の地区にあるボール遊びの出来る施設が把握可能となった。
マップ（地図）も大きくしたため、施設までの行き方も分かりやすくなった。

中学生作成のボール遊びポスターを各小学校に掲示

昨年度課題
子供達の感性に寄り添ったPR

中学生作成のポスターでPR

二宮・宮本中学校の美術部の生徒にボール遊びのルールに関するポスターを作成してもらった。
市作成のポスターと合わせて、小学校の昇降口等に掲示することが出来た。

ルール看板の変更

昨年度課題
看板を見ていない

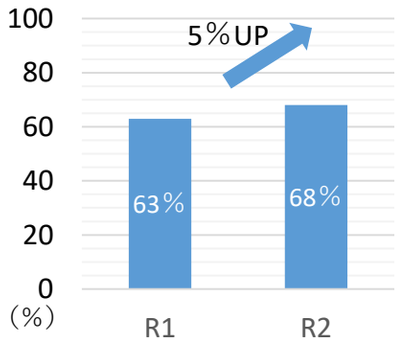
目立つ色に、サイズを大きく

看板の色を全公園で変更した。
看板のサイズ、設置枚数、設置箇所の変更も一部公園で行った。

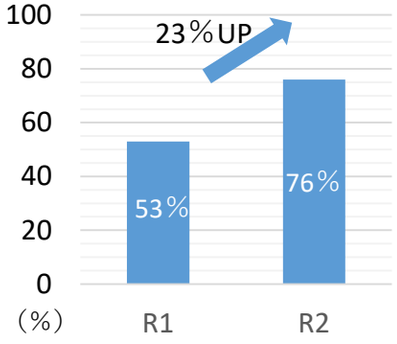
公園利用者へのヒアリング結果

※コロナウイルスの影響や実態調査時期の延期も生じたため、本結果は参考とする

パンフレットを見た中学生の割合



ポスターを見た小学生の割合

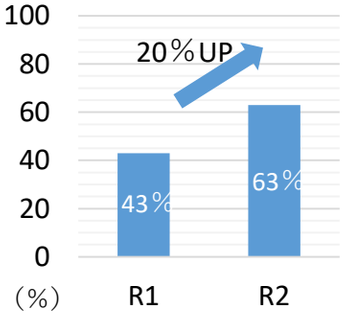


予定時期に配布が出来なかったが、パンフレット・ポスターともに“見た”割合は増加する結果であった。小学生においては、昨年度のチラシ配布からポスター掲示に変更したため、増加の割合が大きかった。

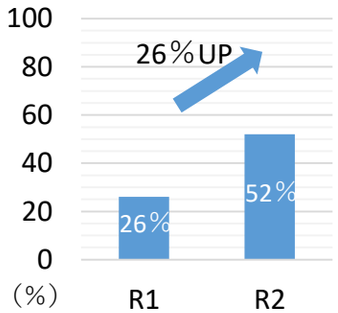
ルール看板を見た小中学生の割合

昨年度認知度が低かった３公園

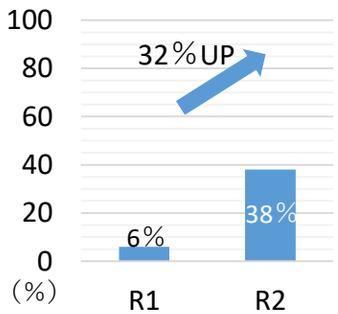
田喜野井公園



夏見台近隣公園



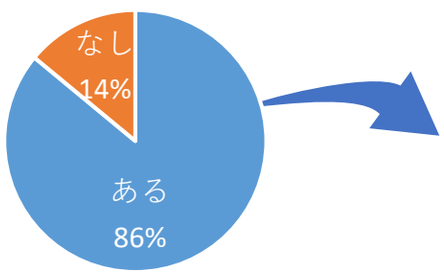
大穴近隣公園



看板の設置場所をより目立つ位置に変更したほか色の変更、サイズ、設置枚数等を変更したことにより、認知度を上げることが出来た。

■子供達からの意見
・黄色で目立つようになった
・黄色のほうが注意喚起している感じがある
・看板を設置していない箇所から入っていた

コロナ禍で気を付けていることのある小中学生の割合



■“ある”と答えた内容（複数回答）
・マスクの着用　75％
・手洗い　51％
・密を避ける　38％
・時間帯を選ぶ　10％

小中学生の約9割が感染リスクに対策を講じていた。
学校や親から遊ぶ際の注意を受けている声が多く聞かれるとともに、子供達同士でもお互いに注意し合う場面も見られた。

コロナ禍における公園利用

コロナ禍において、小中学生は部活や大会の中止、遊び場の制限など様々な影響を受けている。

そのような状況のなかで、公園の果たす役割は大きい。
スポーツ庁においても、心身の健康を保つために、ボール遊びなど運動の啓発を行っており、公園の利用価値が再認識されている。

しかし、特に小学生において、遊びに夢中になり、“密状態”になってしまったり、他の集団と“密接”したり感染の配慮に必要な場面も見られた。

市においては、対策としてコロナ注意喚起の看板を各公園に掲示、定期的なパトロールを行っている。

生活様式が変化するなか、子供達が安全に楽しくボール遊びが出来るよう、感染対策もルールの1つとして周知を行いながら引き続き新規公園の増加を目指していく。

スポーツ庁リーフレット（抜粋）

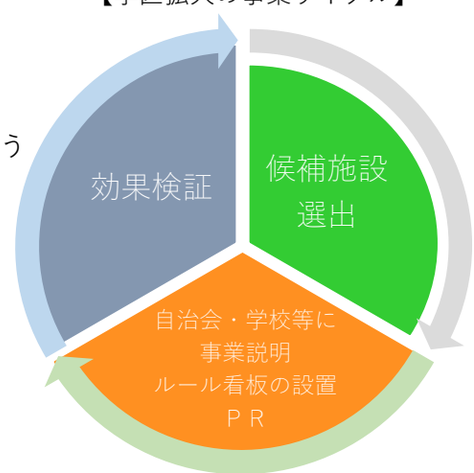
新規の宮本台北公園

コロナ注意喚起看板など

■新型コロナウイルス感染予防
手洗いの徹底など、感染予防を促す看板を設置した
R2.4緊急事態宣言時は、ボール遊びのできる公園を含め、公園パトロールを行った

今後の在り方

生活様式が変化するなか、子供達が安全に楽しくボール遊びが出来るよう、感染対策もルールの1つとして周知を行う。
全中学校区にボール遊びができる施設が存在するよう引き続き新規公園の増加を目指していく。

対象施設のある学区【R２】
中学校：20校/27校

【学区拡大の事業サイクル】